

2019 年秋学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：
クリスチャン生活

メッセージ 12
神の建造としての召会に対する神の道

聖書：ヨハネ15:1, 4-5. ローマ11:17-24. I コリント6:17

- I. 聖書が啓示している、神が人に対して持つことを願っている関係とは、神と人が一になることです——I コリント6:17：
- A. 神が願っているのは、神聖な命と人の命が共に結合されて、一つ命になることです——ヨハネ15:1, 4-5。
 - B. この一は有機的な結合、命における結合、すなわち、接ぎ木された命です。
- II. 接ぎ木において、二つの同様な命が結合されて、共に有機的に成長します——ローマ11:17-24：
- A. 接ぎ木が有効であり得るのは、接ぎ木される命が同様の場合に限りです。
 - B. わたしたちの人の命が神のかたちに、神の姿にしたがって造られたので、それは神聖な命と結合されることができます。
- III. わたしたちがキリストと接ぎ木されるために、彼は、肉体と成ること、十字架、復活という過程を経なければなりません：
- A. キリストは肉体と成って、ダビデの枝であるダビデの子孫となりました。それは、わたしたちが彼と共に接ぎ木されるためです。彼がわたしたちと同じになったので、彼とわたしたちは共に接ぎ木されることができました——ヨハネ1:14. マタイ1:1. ゼカリヤ3:8. エレミヤ23:5. 33:15。
 - B. キリストが十字架上で「切られた」ので、わたしたちは彼へと接ぎ木されることができました：
 - 1. キリストがダビデの枝になったことだけで、彼がわたしたちと共に接ぎ木されることができるとを意味するものではありません。
 - 2. 接ぎ木は切られることを必要とします。二本の枝は、両方が切られない限り、共に接ぎ木されることはできません：
 - a. キリストは十字架上で死んだ時、「切られました」。
 - b. わたしたちは悔い改めて、主を受け入れたとき、「切られました」。
 - 3. 切られることが起こった後、結合と有機的な合一が起こります。ですから、接ぎ木において、わたしたちは切られること、結合されること、有機的な合一を持ちます。
 - C. キリストは十字架上で「切られた」後、復活して、命を与える霊と成りました——

I コリント15:45後半、II コリント3:17前半：

1. そのような霊に成ることによって、キリストは接ぎ木される用意ができました。
2. わたしたちが悔い改めて、主を受け入れるとすぐに、命を与える霊である彼はわたしたちの霊の中へ入って、神聖な命をわたしたちの中へともたらしめます——ヨハネ20:22、ローマ8:11：

- a. この命は、死と復活の命です。
- b. 命を与える霊として、キリストが死と復活のかぎを、信者であるわたしたちの中へともたらしめます。それは、わたしたちがキリストと共に死んで、復活させられるためです——ガラテヤ2:20。
- c. この死と復活の中で、わたしたちはキリストと共に接ぎ木されます。

IV. 再生された者たちとして、わたしたちは接ぎ木された命、すなわち両者が結合されて有機的に成長する命を生きるべきです——ヨハネ15:1, 4-5：

- A. わたしたちはキリストへと接ぎ木された後、もはや自分自身によって生きるべきではありません。そうではなく、霊なるキリストにわたしたちの中で生きていただくべきです——ガラテヤ2:20。
- B. わたしたちはもはやわたしたちの肉や天然の存在によって生きるべきではありません。むしろ、わたしたちはわたしたちの再生された霊、キリストと共に接ぎ木された霊によって生きるべきです——ローマ8:4。

V. 接ぎ木された命は、交換された命ではなく、人の命と神聖な命とのミングリングです——ガラテヤ2:20：

- A. 交換された命という観念は、わたしたちが人の霊を主に明け渡し、彼がそれを神聖な命で置き換えるというものです。
- B. クリスマン生活は、交換された命ではなく、接ぎ木された命、すなわち人の命と神聖な命とのミングリングです——ローマ6:3-5、ヨハネ15:1, 4-5：
 1. 命の交換、売買はありません。
 2. 交換の代わりに、神聖な命を人の命の中へと分与し、注入することと、神聖な命と人の命とのミングリングがあります——ローマ6:3-5、ヨハネ15:1, 4-5。
- C. クリスマンの経験における最もすばらしい実際は、キリストを信じる信者たちが命の方法でキリストと結合されていることです——I コリント6:17：
 1. キリストであるものは何であれ、また、キリストが行なったことは何であれ、結局は一つの事のためです。それは、彼とわたしたちが有機的に結合されて、接ぎ木された命を生きることができるようにするためです——ヨハネ15:4-5。
 2. 主は彼の回復において、ないがしろにされた、接ぎ木された命という事柄を回復しています。

VI. 接ぎ木された命において、人の命は終わらされているのではなく、強められ、引き上げられ、豊かにされています——ローマ11:17-24：

- A. 接ぎ木された命において、枝は同じ本質的な特質を保ったままですが、その命はさらに勝った命へと接ぎ木されることによって引き上げられ、造り変えられます：
 1. より高い命は、より低い命を屈服させます。
 2. より高い命はより低い命を豊かにし、引き上げ、造り変えます。

- B. 接ぎ木された命において、神聖な命はわたしたちの内側で働いて、消極的な要素を排出します——Ⅱコリント3:18:
1. 神聖な命は徐々に働いて、天然的なものを何であれ終わらせます。
 2. わたしたちの性情の中の消極的な要素は殺されます。それから、主はわたしたちの性情を捨て去るのではなく、それを引き上げて、用います。
- C. 接ぎ木された命において、神聖な命は神の当初の創造を復活させます——ヨハネ11:25:
1. 神は彼の創造を放棄するのではなく、取り戻します。
 2. 神はわたしたちの存在のすべての面を復活の中へともたらずことを意図しています——ピリピ3:11:
 - a. 神聖な命が消極的なものを排出するとき、それは働いて、神の当初の創造を復活させます。
 - b. このようにして、わたしたちの当初の機能、すなわち、創造された時わたしたちに与えられた機能は、回復され、強められ、豊かにされます——ガラテヤ2:20。
- D. 接ぎ木された命において、神聖な命はキリストの豊富をわたしたちの内側の各部分に供給します——ローマ12:2:
1. わたしたちの復活させられ、引き上げられた能力は、キリストの豊富をもって供給されます。
 2. そのような供給を通して、わたしたちは思い、感情、意志において更新されます。
- E. 接ぎ木された命において、神聖な命はわたしたちの全存在を浸透します——8:29-30:
1. キリストの豊富はわたしたちを浸透し、造り変えます——ローマ12:2. Ⅱコリント3:18。
 2. この神聖な命の浸透によって、わたしたちはキリストのかたちに同形化されます——ローマ8:29。